

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自然災害においてはいつ・どこで何が起こるか分からない状況にて、昼夜問わずお客様の安全を常に確保できる体制の構築	指揮系統である管理者が不在時であっても、お客様の安全を確保した上での対応・行動ができる。	①年二回の訓練実施・実施後の振り返りの徹底 ②訓練以外でも職員間で情報を共有しながらシュミレーションを行う。 ③お客様の入退去に応じてフローの見直しを行い、作成・周知に努める。	12ヶ月
2	6	現状行っていないが、常に身体拘束をしない環境・体制を継続して取り組む必要がある。	身体拘束禁止における取組を正しく理解し、引き続き身体拘束0(ゼロ)としていく。	①身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を全職員が理解し質問を受けたとしても常に答えられる状態にしていく。 ②内部研修実施の徹底・外部研修への参加 ③止むを得ずの場合においても、実施しない取り組みを話し合い行わない体制としていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月